

08月度例会 山行報告書		報告者	天野	参加 メンバー	CL:藤田 勝啓 SL:天野 広
個人		報告日	08/09		
山城	北アルプス	山行日	18年 08月 02日 (木) ~		
山名	槍ヶ岳-穂高岳縦走		18年 08月 04日 (土)		

山行目的	憧れのコースに挑戦	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
総会参加数	
山行: 1	
リーダー	
原紙:	
会事務局	



08/02 快晴	06:15 南岳小屋
03:00 起床	07:30 大レット最低コル
03:30 深山荘 P 発	08:00 長谷川ピーク
05:05 穂高平	08:25 A 沢のコル
05:55 白出沢出合	09:56 北穂高岳
07:25 滝谷出合	11:25 最低コル
08:20 槍平小屋	12:30 涸沢岳
09:25 水場	13:15 穂高岳山荘
10:25 千丈分岐点	
11:05 千丈乗越	08/04 快晴
12:07 槍ヶ岳山荘	03:00 起床
13:10 槍ヶ岳頂上	03:40 穂高岳山荘発
	04:25 奥穂高岳
08/03 曇りのち快晴	06:25 紀美子平
03:00 起床	07:12 前穂高岳
03:30 槍ヶ岳山荘発	08:06 紀美子平
04:10 大喰岳	09:20 岳沢ノバラ
04:43 中岳	10:20 岳沢小屋
05:40 天狗原分岐	11:40 風穴
	12:35 ト高地バスターミナル

〈山行報告〉岩場のコースのため天候の良い日を選んでこの日に決めた。08/01 15:20 藤田さんに自宅でピックアップしてもらい、20:30 頃深山荘Pに到着。平日のため駐車場はすいていると高を括っていたが、満車の表示。探すと何台かのスペースがあり車中泊をした。08/02 懐電を着け出発。標高差 2000mをひたすら登る。千丈分岐点に着くと森林限界を超え槍ヶ岳山荘が見えた。お花畑を通過、急登をよじ登り千丈乗越に着くと風が心地よく吹いている。槍ヶ岳は目前だがなかなか着かない。山荘で手続きをし、少しの休憩後槍ヶ岳に登頂。今回は景色が見えて感激。08/03 雲の中を大喰岳に向かい懐電歩行するが、岩場でありペースが上がらない。中岳の手前で明るくなってきて歩きやすくなった。南岳小屋で長めの休憩を取り、弁当のおこわを平らげる。今回の最大イベント大ギレットに向かうが、出だしからコースミスをしてしまう。情報通り岩場のコースはハードだが、安全に着実に歩を進める。長谷川ピークからの下りが厳しい。A沢のコルで休憩し、いよいよ北穂高岳への登りだ。急で長い登りを、息を切らしながら登る。山荘が見えた。あと少しだ！北穂に登頂！やった！しかし涸沢岳へのコースの方が待っている。疲れもあり、こちらの方が危険箇所が多いと感じた。涸沢岳でのんびりしているとガスに包まれ、晴れているうちに到着でき良かった。08/04 真っ暗な中、奥穂高岳の急登に取り付く。奥穂に登頂しど来光を待つが、雲に隠れ中々上らないため、前穂高岳に向け吊り尾根を歩く。難所だ。

紀美子平にザックをデポし、前穂をピストン。急で息が切れた。重太郎新道の下りは想定外の険しさだ。やっとの思いで岳沢小屋に到着し、炭酸飲料で自分へのご褒美とした。

2006年に山岳部し、山行を重ねるうちに「槍ヶ岳-穂高岳縦走」が憧れとなっていた。昨年計画するも、諸般の事情で今年に延期となったが、達成でき、万感の思いです。藤田さんありがとうございました。

〈リーダー所見〉
今回の槍穂縦走は昨年からの計画でしたが、私の怪我で行けなかったもので、今年は是非登りたいと思っていた、時間があつたので、体調管理とトレーニングは十分出来た。天候に恵まれて暑さにあえぎ、岩場で少々緊張したが、お花を愛でながらの楽しい3日間でした。下山後の心地よい疲れと余韻も楽しんでます。天野さんありがとう。



確認 (リーダー)	藤
18/08/10	田
作成 (報告者)	天
18/08/09	野